

1998.12.20

市川市文化祭50周年

第271回市響

ファミリー交響楽コンサート

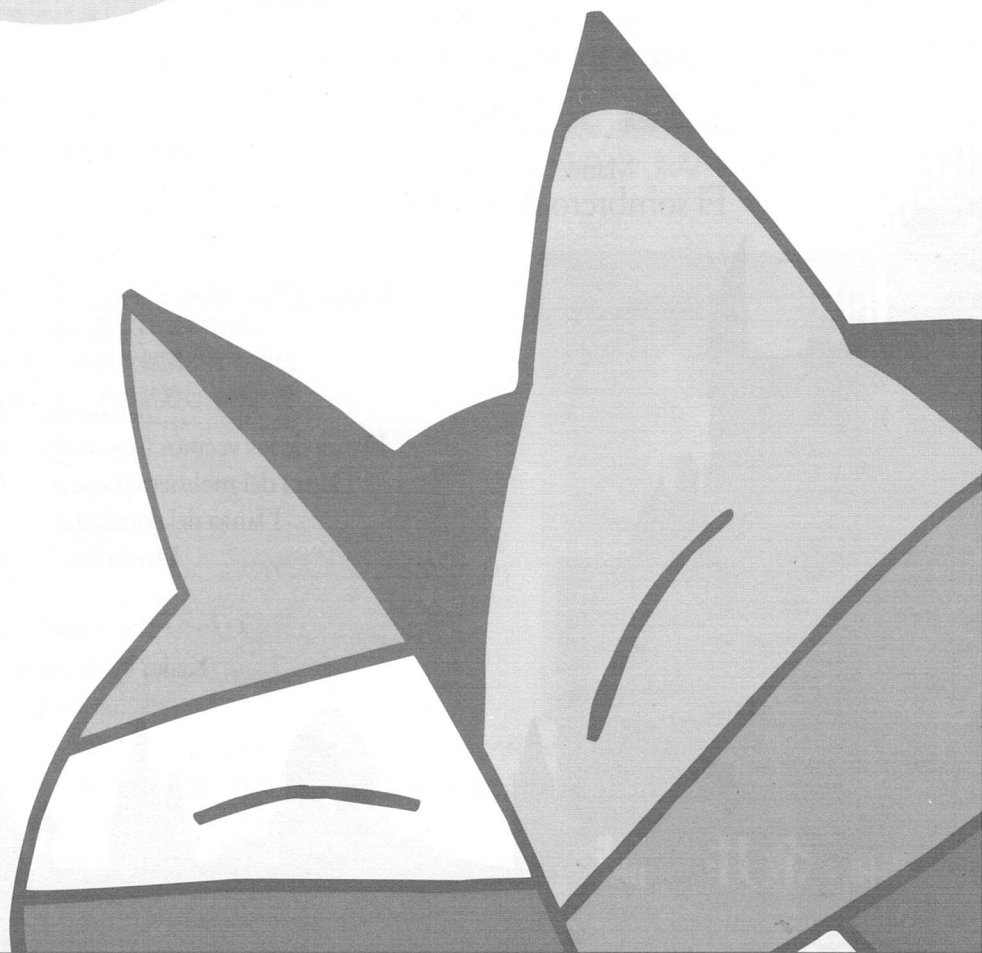
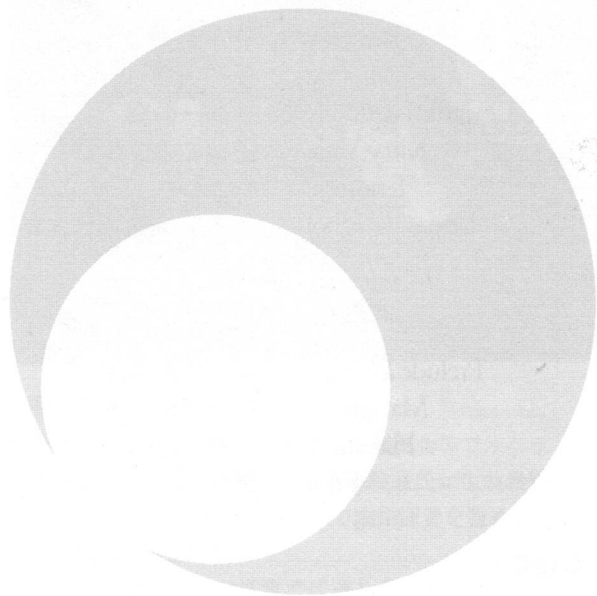
市川交響楽団

スペインの情熱

主催 市川市教育委員会 市川交響楽団協会
後援 千葉交響楽団協会

1998年12月20日

市川市文化会館



Ichikawa Symphony Orchestra

スペインの情熱

第271回市響・ファミリー交響楽

ガブルエル フォーレ

「ドリー」

(アンリ・ラポーの編曲による)

Gabriel Fauré

Dolly, op.56

Berceuse	子守歌
Mi-a-ou	ミーアウ
Le Jardin de Dolly	ドリーの庭
Kitty-Valse	仔ねこのワルツ
Tendresse	やさしさ
Le pas espagnol	スペイン風ステップ

モーリス ラヴェル
スペイン狂詩曲

Maurice Ravel

Rapsodie Espagnole

Prélude à la nuit	夜への前奏曲
Malaguena	マラゲーニャ
Habanera	ハバネラ
Feria	祭り



マヌエル デ ファリャ

バレエ音楽 「三角帽子」

Manuel de Falla

El sombrero de tres picos

Introducción 序奏

Parte Prima 第一部

Atardecer 午後

Danza de la molinera (Fandango) 粉屋の女房の踊り

Las uvas ぶどう

Parte segunda 第二部

Danza de los vecinos (Seguidillas) 近所の人たちの踊り

Danza del molinero (Farruca) 粉屋の踊り

Danza del corregidor 代官の踊り

Danza final 終幕の踊り

メゾ・ソプラノ独唱 西 啓子

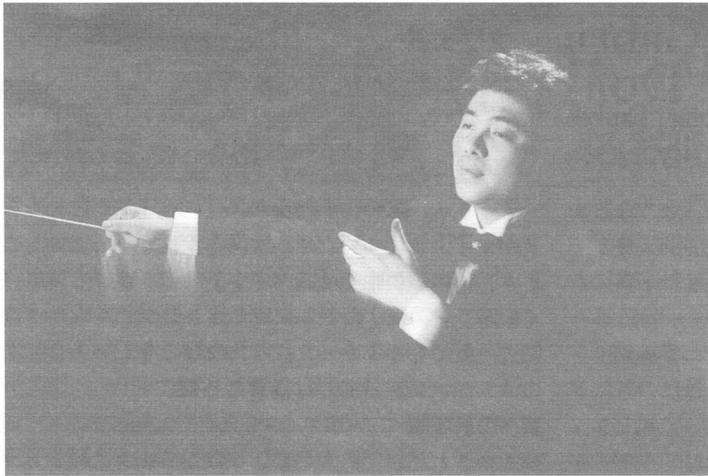
Keiko Nishi, Mezzo-Soprano

指揮：金井 誠

Makoto Kanai

市川交響楽団

Ichikawa Symphony Orchestra



指揮：金井 誠

長野県松本市出身。(財)日本オペラ振興会等でオペラ指揮者としての研鑽を積む。故渡邊暁雄氏が生前最後に指揮したオペラ「修善寺物語」で副指揮者を務め、同氏より高く評価される。

急病の星出豊氏本人の推薦で代演した「泣いた赤鬼」で、同曲作曲家松井和彦氏から「演奏の理想」と絶賛される。

アメリカン少年合唱団音楽監督J.リトゥン氏にその指揮法、音楽性を絶賛された。

東京シティ・フィルを始め、プロ、アマのオーケストラとの共演も多数。

また、青山円形劇場ミュージカル「メルヘン通り」指揮、ジャズクラリネット奏者北村英二氏との共演、三枝成章氏のトークショー出演、藤原歌劇団：宮本亜門氏演出「ピノキオ」に参加など、その活動は多岐に渡る。

合唱の分野でも「第九」「メサイア」などにおいて、指揮者高階正光氏、黒岩英臣氏にその指導力と手腕を高く評価された。また作曲家水野修孝氏に「自分の作品になくはない存在」と評された。

演奏作品は「魔笛」「ドン・ジョバンニ」「こうもり」「カルメン」「ヘンゼルとグレーテル」「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「修道女アンジェリカ」「ジャンニ・スキッキ」「リゴレット」「マクベス」「椿姫」「おこんじょうり」「三人の女達の物語」「たらちねパート2」など多数。



メゾソプラノ独唱：西 啓子

国立音楽大学声楽科卒業。同大学院オペラコース修了。二期会オペラスタジオ修了時、優秀賞を受賞。神奈川県立音楽堂推薦新人音楽会にて新人賞を受賞。1990年度文化庁芸術家国内研修員。1991年度東京文化会館新進音楽家デビューコンサートオーディション合格。1992年よりミラノへ留学、ジュリエッタ・シミアナート、ダ

ニエル・チャイン両氏のもとで研鑽を積み、1995年11月帰国。第3回藤沢オペラコンクール入賞。オペラにおいては「カルメン」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「魔笛」「霊媒」「シンデレラ」「こうもり」等に出演。中村 健氏に師事。二期会会員。横浜シティオペラ会員。

フォーレ
「ドリー」

横田佐貴絵

ヴァイオリン

Gabriel Dolly
Gabriel Fauré
Dolly, op.56

ラヴェル

スペイン狂詩曲

谷口 浩

テューバ

Rapsodie Espagnole

Maurice Ravel
Rapsodie Espagnole

この曲を初めて聴いた時、包み込まれるような暖かさを感じた。「子守歌」から始まるこの組曲は、優しく純粋な気持ちにさせてくれます。フォーレは子供のためのピアノ連弾曲を6曲書いており(1893~96)、エレーヌ・バルダック嬢に捧げました。彼女の愛称が「ドリー」なのです(ちなみにこのドリーの母はのちにドビュッシーと再婚して話題になったとか)。このピアノ曲を指揮者でもあり作曲家でもあるアンリ・ラポーが1906年頃に管弦楽版に編曲しました。

1曲ごとにタイトルがついていますが、どうやら曰く付きのタイトルがあるようなのです…。2曲目の「ミ-ア-ウ(mi-a-ou)」はフランスで猫の鳴き声を表しますが、原題はドリーの兄ラウールの愛称「メシユー・アウル!(Messieu Aoul!)」だったらいいのだ! 4曲目の「キティ・ワルツ(Kitty Valse)」も、キティとは英語で子猫の愛称ですが、フォーレが付けた原題は「ケティ・ワルツ(Ketty Valse)」でケティとはラウール君のペット犬だったとか人形だったとか?! タイトルだけを見て聴いていた私は、2曲とも「猫の曲ね、なるほど、ふむふむ、いかにもそんな感じよね」などと思いつつ聴いていたぞ! 先入観とはオソロシイ。終曲はスペイン舞曲ですがフォーレがスペイン系の曲を書いたのはこの1曲だけとされています。

本日演奏する曲の中で、この「ドリー」は比較的簡単かも? と思っていましたが、甘かった…。やはりいざ練習してみるとそう簡単には上手くいかない部分もあります。11月のとある土曜の朝、「今日の2nd Violinのパート練習は中止」という連絡が入った(オーケストラ全体での練習の前にパートごとに練習をすることがあるのですよ)。「どうしてもパート内だけで練習しておかないとマズイ部分があったのに…」と、この原稿を読み返しながらか筆者は青ざめています…。さて今日の練習はどうなることやら。

モーリス、君の作品のなかに「スペイン」という言葉がタイトルについているオーケストラ曲があると聞いたとき、僕の頭の中で「スペイン」とは、燦々と降り注ぐ太陽、青い海、たわわに実るオレンジ…という南国の風景でしかなかった。そんな中学生だった僕に君の「スペイン狂詩曲」は衝撃だった。

夜への前奏曲 この国はいつも真夏で太陽がまぶしく輝いていると思っていたのに、夕闇迫る頃、太陽が地平線にちょうど姿を隠した頃から物語は始まる。僕は空中を舞いながら、すでに半分は闇が支配している岬の先端にある小さな村へ、茜色に染まった海の上から近づいていく。地上に降り立つとここが物語の舞台だ。マラゲーニャ 村の小さな酒場の窓から中を覗くとスペインのマラガ地方に伝わる四分の三拍子の舞曲が踊られている。ラッパが鳴り響き情熱的なカステネットと物憂い旋律が絡み合う。しかし、窓を離れると夜の帳が世を支配している。

ハバネラ ビゼーの「カルメン」に同じ名前の曲がある。しかし印象は全く異なる。ビゼーは情熱的な酒場の踊りなのにラヴェルは夜の岬から海を眺めているかのようなモノトーンの音楽。こんなに違うのになぜ同じ名前の曲だと言うのだろうか? どんな仕掛けがあるのだろうか? 当時の中学生はそう思った。彼にとって安くはない金額をはたき、街へ出て行って水色のスコアを買った。かつての中学生の手元にはまだこのスコアがあり、まだ夜の香りを放っている。

祭り 突然闇を切り裂いて激しい踊りが始まる。しかし今は夜。決して太陽の下で演じられている踊りではない。その証拠に一そう、踊りを楽しんでいてもすぐに夜が忍び込んできてしまう。風の音がきこえる? 「だめだよ、踊りに集中しなきゃ」だれかが耳元で囁く。冷静でいようとする意識とは裏腹に身体は激しいリズムに引き込まれていく。何種類もの踊りのリズム、激しい打楽器の響き、ホルンの叫び声。祭りは唐突に荒々しく終わりを告げる。

モーリス、僕は君のこの曲を演奏できてとても幸せだ。もう少し僕の楽器に音符を書いてくれたら、なんてことは言わないよ。こんなスペインがあるんだという中学生の頃の清冽な感動を思い起こさせてくれただけで十分だ。ありがとう。

ファリヤ

バレエ音楽「三角帽子」

高田 賀夫 ヴァイオリン

スペインを代表する作曲家ファリヤは、実は、その生涯に二十数曲程しか作品を残していないといわれていますが、踊りを中心とした民族色豊かな音楽で、まるっきり文化の違う我々日本人を含む世界中の人々に愛されています。彼の代表作の一つバレエ音楽「恋は魔術師」のなかで演奏される「火祭りの踊り」などは、市響の演奏会に足を運ばれる方なら、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか？ また、彼の出世作といわれる歌劇「はかなき人生」のなかのスペイン舞曲は、名手クライスラーがヴァイオリンの独奏曲に編曲したことで有名で、これは世界中のヴァイオリン弾きの重要なレパートリーの一つとなっています。私も、このスペイン舞曲がカッコ良く弾きたいな、と密かに練習しているヴァイオリン弾きの一人です。

さて、これからお聴きいただく「三角帽子」という曲は、バレエの巨匠ディアギレフからの依頼を受けて書かれた、バレエのための音楽です。バレエの物語は、権力を笠に着て威張り散らしている代官が、ある日、粉屋の美人な女房を見そめてしまい、彼女をわがものにしてしようとしてあれこれちょっかいをだすけれど、彼女にうまくかわされるばかりか、粉屋の主人や村人たちからもさんざんな目にあわされるというもので、なかなか風刺がきいていて、水戸黄門や大岡越前といった勧善懲悪モノに通じるころがあり、音楽好きならずとも十分楽しめそうですね。題名となっている「三角帽子」は、威張った代官がかぶっている三角の形をした帽子のことで、権威を象徴するものといわれています。

一方、音楽そのものとはというと、当然のごとくストーリー展開にマッチした表現がなされていますが、やはり、全曲を通じてファンダンゴ、セギディーリャ、ファルーカ、ホタなどのスペインの民族的な舞曲に彩られていることがこの曲の特徴でしょう。スペインの舞曲というと、真っ赤な衣装を身にまとった情熱的な女性が、歌とギター伴奏に合わせてリズムカルなステップで踊る、あのフラメンコを思い浮かべませんか？

この曲の冒頭は、ティンパニの激しいリズムによってトランペットが響き、カスタネットとオレ！オレ！オレ！オレ！という掛け声の後に、遠くから女性の歌声が聞こえてきます。私などは、まさにフラメンコダ

ンサーの登場というイメージを持ちますが、いかがでしょう？ 彼女の歌が終わると、弦楽器の妖しげな旋律によってアンダルシア地方の長閑な農村の昼下がりに幕が開きます。ファゴットによって奏でられるちょっと滑稽な代官の踊り、弦楽器の柔らかい旋律で歌われる粉屋の女房の踊り、闘牛士のような猛々しさを思わせる粉屋の主人の踊りなど、物語の展開とともに様々なリズムの踊りが繰り広げられ、終曲では、村人たちも総出でホタの舞曲に狂喜し、祭りのクライマックスを迎えます。

ところで、裏話になりますが、めまぐるしく変化するリズムにはさすがの市響も難儀しました。練習の過程でなかなか曲にならないので、楽器を離れてリズムのみの練習に明け暮れた楽員も多かったようです。私なども我が家で練習していると、側で2歳になる子供が踊りだし、これを見ていた女房から「この子に踊りを教えてもらってから楽器を持ったら？」などと冷たい指摘を受けて、音楽作りのための踊りの練習もやっちゃいました。市響には初体験ともなった「スペインの情熱」コンサート。その取りとなる「三角帽子」で、聴衆の皆様にも果たしてスペインの踊りをご覧いただくことができるのでしょうか？ 請うご期待！



Ichikyo Presents

カスタネット の いっばい!

おはなし 都筑 裕



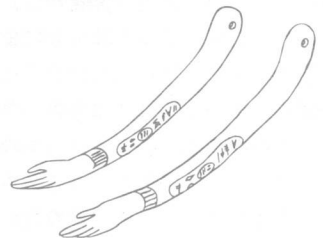
本日は市響の演奏会においでいただきまして、ありがとうございます。今回のプログラムでは、いろいろな打楽器がいろいろと使われています。今日は、その中でも、いつもはあまり脚光を浴びることのないカスタネットについてお話したいと思います。

赤青カスタネットのなぞ

え、カスタネット、あの幼稚園で使うやつ？ そう、どなたでも一度は手にしたことがおありになるに違いありません。そう言えば、幼稚園で使うカスタネットはなぜ片方が青で、もう片方が赤の色で塗られているのでしょうか。去年、朝のテレビの情報番組でそんな話題が取り上げられていました。楽器製造業者の方に話を聞いてみましたが、それによると、最初は男の子用に全部青い色を塗ったもの、女の子用に全面赤のものを作っていたそうです。しかし男女比などからうまくそれぞれに配れないことがあり、男の子に赤がいたり、女の子に青がいたりしてしまうことがあったそうです。このぐらいの子供たちは、男の子用とか女の子用とか敏感ですからね。きっと、いろいろなもめごとがあったことでしょう。それならば、男の子でも女の子でも使えるようにとのことから、ひとつの楽器に青と赤の色をつけるようにした、とのことでした。

カスタネットの起源

そもそも、カスタネットの起源はなんだったのでしょうか。一説によると、古代エジプトのクラッパーにその源があるようです。クラッパーとは、拍子木のように、木や石や貝や金属や骨などを打ち合わせて音を出すもので、これは人類の起源とともにあったと考えられます。拍手の代わりに用いられていたようです。古代エジプトには、そのクラッパーが確かにあったようです。もの本には、カイロのエジプト考古学博物館所蔵の象牙製のクラッパーの写真が出てきました。ブーメランのよ



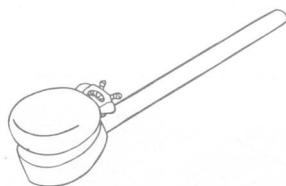
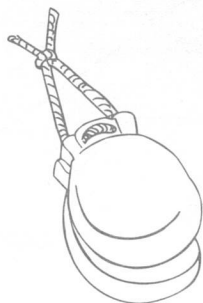
うに少し曲がっていて、先端は手の形に彫られてます。これが次第に発達して、特にスペインで盛んに用いられるようになりました。そう、カスタネットと言えばフラメンコですね。フラメンコで使うカスタネットは手に握って叩きますが、普通のオーケストラの打楽器奏者にとっては大変難しい奏法です。以前読売日本交響楽団におられた市岡史郎氏はカスタネットの名手として、非常に有名でした。

カスタネット・イン・オーケストラ

よくオーケストラで使われるカスタネットにはいくつかの形があります。

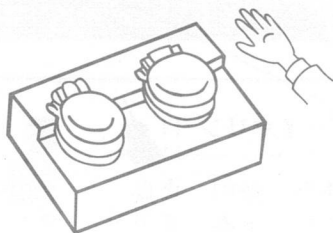
(1) スパニッシュ・カスタネット

手の中に握って叩くもの。技術的には大変難しいです。両手の人差し指から小指までを、別々に使います。カスタネットだけの教則本も出てくるくらいです。



(2) 柄付きカスタネット
柄についているもので、振って音を出します。

(3) コンサート・カスタネット
台の上に固定されていて、ゴムやバネで引っ張られているため、手で持つ必要がありません。手やバチで叩くことができるため、速いパッセージなどの演奏が可能になります。一番メカニクな最新兵器です。



本日のプログラム・カスタネットの聴きどころ

さて、本日のプログラムでは、カスタネットはどのように使われていますでしょうか。

ラヴェル「スペイン狂詩曲」第4曲「祭り」は、祭りの日の市場を模写したもの、と言われてます。カスタネットをはじめとした、打楽器の速いパッセージが祭りの熱狂と歓喜の様子を盛り上げます。

ファリャ「三角帽子」第一組曲 序奏 冒頭のティ

ンパニとトランペットのソロの後で、メゾソプラノの歌が入ります。その伴奏というか「合の手」が「男性の声」と拍手、それにカスタネットのみなのです。いかにもスペイン、といった雰囲気がいっぱい出だしです。今日ご来場の皆様にはそうしたスペインらしさがうまく伝わりますでしょうか。

第二組曲「代官の踊り」では、代官が粉屋の女房のところに忍んで行く描写があり、カスタネットのソロがあります。大変ユーモラスな表現です。

カスタネットの世界

その他にもカスタネットが活躍する曲には、こんな曲があります。

●ビゼー：歌劇「カルメン」 カルメンがドン・ホセに向かって歌いながらカスタネットを叩く場面があります。オーケストラにカスタネットが取り入れられた最初の例だそうです。オペラの中でも重要な場面になっていますが、小道具としても、音楽的にもカスタネットが大変うまく取り入れられています。

●プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番 1楽章にカスタネットが出てきます。5連符が不思議な効果を出しています。プロコフィエフは打楽器の使い方が大変巧みで、感心してしまいます。

●サン＝サーンス：歌劇「サムソンとデリラ」バックナール 妖しい雰囲気の音楽です。カスタネットは速いテンポについていくので必死です。

●オルフ：カルミナ・ブラーナ 22番にカスタネット・ソロがあります。バリトンのソロとの絡みでアツチエランドしていきますので、なかなか緊張するところです。

●ブリテン：ソワレ・ミュージカル 4曲目の「ボレロ」にカスタネットが出てきます。微妙にルバートして合わせにくいパートです。

なんだか、次第に自分が難しかった曲を挙げただけのようになってしまいましたが、これらはカスタネットの魅力を味わうのに最適な曲ばかりです。機会がございましたら、是非お聴きになっていただけるとうれしいです。

市川交響楽団

団長

村上 正治

副団長

横田 行雄

幹事長

演奏会委員会委員長

時田 雄

インスペクター

運営委員会委員長

福原 耕二

コンサートマスター

福原 祥子

弦楽器トレーナー

根津 昭義

事務局

半藤 嗣人



ティンパニ & 打楽器

石沢 恵子
 岩橋 正治
 武井 勝美
 田中 康信
 谷口 仁美
 ♪ 都筑 裕太郎
 森本 太郎

クラリネット

井垣 貴嗣
 一瀬 直美
 時田 雄
 半藤 嗣人
 ♪ 吉野 智久

トランペット

♪ 安藤 宣明
 一桝 泰一
 新井本昌宏

フルート

♪ 木村 純一
 木村 真諭紀
 佐藤 洋行
 篠原 梨恵

ハープ

小橋 ちひろ

チェレスタ

飯塚 裕子

ピアノ

半藤 陽子

ヴァイオリン II

石本 恵理 鎌田 真貴
 河村 智行 木本 幸子
 沢田 健 沢田 紀之
 須永 恒雄 竹内 まり
 根守 弘和 久田しげ子
 福原 崇 三木美千子
 溝田 範子 村上 葉子
 村田 康代
 ♪ 横田佐貴絵

ヴァイオリン I

上田佳津子 笠松 秀臣
 亀井 玲子 島原 千晶
 鈴木 薫 高田 賀夫
 立田 祥子 永田 匡
 二宮 伸雄 福原 亜希
 松延 裕子 松山 和子
 横田富美子 吉岡 一郎
 渡辺 昭子

♪ コンサートマスター

福原 祥子

♪ パートリーダー・パートトップ

わたくしたち市川交響楽団（市響）は、いろいろな職業をもつ幅広い年齢層の団員で構成されており、アットホームで楽しく和やかで、めんどろみがよいことをモットーとしている市民オーケストラです。社会人の方で、オーケストラで演奏経験のある方、前にやっけてずっと弾いていないけどまた始めたいな、こちらに引っ越してきたのだけどいいオケないかな、といった方は市川交響楽団にぜひご参加ください。1999年8月には、わたしたちが幹事

団体となって、全国アマチュアオーケストラ団員が集う「アマオケフェスティバル市川大会」が開催されます。

見学や入団ご希望の方は下記宛お問い合わせください。


（弦）福原 TEL 043-279-2026

（管・打）時田 TEL 03-3600-0063 FAX 03-3600-0293


市響インターネットホームページ <http://plaza28.mbn.or.jp/~ichikyol/>

市川交響楽団・本日の出演者

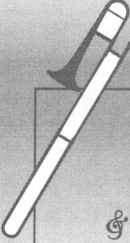
オーボエ


 ♪ 二村 直子
 山地 順子
 吉田 史朗


テューバ


 ♪ 谷口 浩


トロンボーン


 五十嵐じゅん
 佐野 義人
 古屋 義和
 ♪ 藪崎 裕至


ファゴット


 金坂 哲
 ♪ 菅原 斉
 野本 響子
 古屋 文弘


ホルン


 近藤 利昭
 藤井 茂司
 村田 朋子
 山内 正晴
 山本 恭子


ヴィオラ


 内田 綾美
 ♪ 柿沼ひとみ
 北崎 裕一
 相馬 正典
 武田 俊男
 奈良林弘子
 原口 博司
 水野 桃子
 村上 賢一
 渡部 玲子

チェロ


 池田 寛之
 沢田 恵子
 瀬川 清扶
 田頭 扶
 中村 公一
 根岸 朋子
 野中 能久
 日澤 優
 ♪ 福原 耕二

コントラバス


 ♪ 上村 啓介 菊池 克彦
 鈴木 重則 長谷川隆子
 宮本 彰 村上 信乃

わたくしたち市響の仲間、市響ジュニアオーケストラが仲間を募集しています。オーケストラで演奏してみたいと思う方はお気軽にお問い合わせください。

市響ジュニアオーケストラ 団員募集中

募集楽器：ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・
 コントラバス・オーボエ・クラリネット・ファ
 ゴット・ホルン・トロンボーン・テューバ
 年齢：小学生～22歳まで
 練習日：毎週日曜日 10時～16時
 練習場所：平田小学校音楽室
 （練習場所が変更になる場合もあります）
 連絡先：中屋 043-462-7855

また私たち市響が所属する市川交響楽団協会には、歌を歌いたい
 のだけどという方に市川混声合唱団、行徳混声合唱団、いや私は
 プラスバンドがいいなという方には市川交響吹奏楽団、高校生以
 下の方には市響ジュニアオーケストラがございます。こちらにも
 ぜひどうぞ。